

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	学校改修事業	会計	一般会計	事業No.	677	施策順No.	22-010
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-2-3-11-2		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	学校教育課		
施策	22 義務教育の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市内の小中学校 児童・生徒						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		小中学校数		29	28	28	28	
		児童・生徒数		9599	9468	9352	9287	
意図		教育環境が向上する 支障なく使える						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	実施済小中学校数	6	5	5	4	4	4	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		予定どおり実施し、目標を達成できた。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	1 老朽化した小中学校の校舎・体育館の屋根、外壁他を改修して雨漏り等を防いで教育環境を向上させるべく小中学校29校の学校施設を計画的に改修する 2 老朽化の進捗度合いの著しい小中学校から優先して工事を実施する <参考>細々目:小学校建設事業費(単独) 中学校建設事業費(単独)		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 老朽化した学校の校舎・体育館の屋根、外壁他を改修して雨漏り等を防いで教育環境を向上させる 2 屋根改修工事を実施 (1)千代小学校、千栄小学校、三穂小学校、飯田西中学校 (21→22 繰越明許費 小学校12000千円、中学校7000千円)	工事実施校数	4校
23年度実施計画	1 老朽化した学校の校舎及び体育館の屋根、外壁ほかを改修し雨漏り等を防いで教育環境を向上させる 2 屋根改修工事を予定 (1)鼎小学校、千栄小学校、上村小学校、高陵中学校 (22→23 繰越明許費 小学校12300千円)	工事実施予定校数	4校

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	(21→22 繰越明許費 19,000千円)地域活性化・きめ細やかな臨時交付金 (22→23 繰越明許費 12,300千円)市単独費
	国庫支出金		19,000	19,058		
	県支出金					
	起債				25,000	
	その他					
一般財源			12,300		31,600	
計(A)		31,300	19,058	56,600		
正規職員所要時間				200		
臨時職員等所要時間					715	
人件費計(B)					19,773	
トータルコスト A+B						

4 事業に対する市民や議会の意見

学校開放を行っている体育館においては、自治会等から雨漏り防止の要望あり。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	具体的な取組事項	施策の成果指標又はムトス指標
		良好な教育環境のなかで児童、生徒(含外国籍児童、生徒)が生きる力(知育、徳育、体育)をつけることができる。 →児童、生徒(含外国籍児童、生徒)が生きる力(知育、徳育、体育)をつける。	良好な環境で授業を受けることができる児童、生徒数の比率→学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 文科省基準を満たした学校の数(ムトス指標)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	・老朽化校舎・体育館の屋根改修を計画的に実施することにより、教育環境の整備が図られた。	
	後期に向けた課題	・順次、計画的に老朽化した校舎、体育館の屋根改修を実施していくが、防水塗装に関しての有効期間が概ね10年であり、学校数も多いことから、新しい校舎・体育館が出来るまで継続していくこととなる。	
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	・耐震補強工事を実施した学校については、極力予算の範囲内で、併せて屋根改修を実施した。	
	後期に向けた課題	・老朽化校舎・体育館の状況から、事業の継続は必須である。	
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	・耐震補強工事を実施した学校については、極力予算の範囲内で屋根改修も合わせて実施した。	
	後期に向けた課題	・22年度で耐震補強工事が終了し屋根改修を併せて実施できないため、単独で実施することになる。	
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・受益者負担は無し。	
	後期に向けた課題	・受益者負担は無し。	
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り		
	後期に向けた課題		
全体を通じて	4年間の振り返り	・順次、計画的に老朽化校舎・体育館の屋根改修を実施した。改修工事に合わせて樋改修も実施した。	
	後期に向けた課題	・屋根、特に樋については枯葉等が詰まり腐食するため、通常の耐用年数より寿命が短い。体育館の樋清掃と調査は毎年行っているが、校舎の樋は危険が伴うことから教職員や学校用務員に作業依頼出来ず、今後業者委託の方向で検討する。雨漏りによる建物内部の改修及び修理は避けたい。学校は樹木が多いことで起因する課題があるも環境文化都市を標榜する飯田市としては、むやみに伐採できない。	

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------